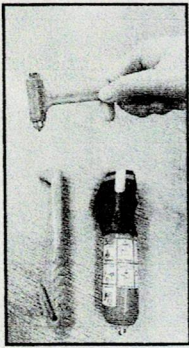


# 脱出ハンマー 1台に1本

## 国「大雨で車水没備えを」

国土交通省は、冠水した道路で車が水没し、閉じ込められる被害を防ごうと、窓ガラスを割って逃げる脱出用ハンマーの準備を呼び掛けている。昨年十月、東日本の広範囲で被害が出た台風19号では、犠牲者の約三割が車中で亡くなった。ホームセンターやカー用品店での価格は数百円から三千円程度。台風シーズンを前に「一台一本の『命綱』の用意を」と訴えている。



国交省によると、冠水した道路に入ると車内への浸水でエンジンやモーターが止まる恐れがあり、水位が低いうちにドアや窓から逃

げるのが鉄則。水位の上昇で、ドアを開けることができないうちに陥れば、ハンマーの活用が必要になる。



冠水した道路で水没した車。昨年10月、東京都世田谷区で

車の窓ガラスは強度が高く、素手で割るのは困難。脱出用ハンマーは、先端部分にとがった金属があるのが特徴で、打ち付けるとガラスが割れる。金づちに似た形状のものや、窓に押し当てると先端が自動で飛び出すタイプなどがある。フロントガラスは、特殊フィルムで二枚のガラスを合わせた分厚い構造のためハンマーでも割れない。ドアや車体後部にこうしたガラスを使う車種もあり、事前の確認を求めている。